



『東北圏だより』

復興集中期間の最終年を迎えて

宮城復興局

東日本大震災から3月11日で4年が経過しました。復旧・復興に尽力されております関係者の皆様に敬意を表します。また、復興庁の取り組みにご協力、ご支援いただき、感謝申し上げます。

石巻市の新蛇田地区、気仙沼市の南郷住宅をはじめとする防災集団移転宅地や災害公営住宅が県内各地で完成しはじめ、住宅の建築や災害公営住宅への入居が始まっています。宮城県内の災害公営住宅、民間住宅等用宅地（防災集団移転促進事業等の面整備事業）の平成26年12月時点での完成実績は災害公営住宅が2,324戸、民間住宅等用宅地が1,242戸となっています。平成27年度末までに災害公営住宅が概ね11,500戸、民間住宅等用宅地が概ね5,500戸供給される見込みとなっております。



▲気仙沼市南郷住宅引き渡し式



▲石巻市新蛇田地区宅地供給開始式

防災集団移転促進事業等による宅地の供給が大きく増加し、個人住宅の建築が本格化してきました。そのため、宮城復興局では住宅再建を考えている被災者を対象に、建築プランや住宅融資制度、必要な登記手続き等に関する住宅再建情報をワンストップで提供する説明会「住宅再建まるごと相談会」を国機関、県市町村の他、金融機関、ハウスメーカー・工務店、弁護士会、司法書士会等と連携して平成26年度から実施しています。これまでに気仙沼市、石巻市、山元町等県内各地で実施しており、平成27年度も引き続き実施していく予定です。



▲住宅再建まるごと相談会建築プラン等紹介の様子

産業の復旧・復興に向けて企業マッチング「結の場」などの官民連携の取り組みや災害公営住宅でのコミュニティ形成支援などの被災者の健康生活支援について総合対策を打ち出すなど住まいだけでなく生業、健康などの課題についても取り組んでおります。

本年は集中復興期間の最終年度となります。宮城復興局としては、まずは一日でも早く、一人でも多くの被災者が安心できる住まいに移っていただけるよう、被災自治体に寄り添いながら、復興を加速化するため様々なハード、ソフト施策を進めて参りますので、ご理解とご支援を引き続き賜りますようお願い申し上げます。

第3回東北圏広域地方計画協議会を開催

東北圏広域地方計画推進室

去る3月25日（水）、仙台市内において、国、地方公共団体、経済団体等の長が構成員となっている「第3回東北圏広域地方計画協議会」を開催いたしました。

「東北圏広域地方計画」は、東北圏における国土の形成に関する方針や目標等を示すもので、現行の計画は平成21年8月に策定されましたが、平成23年3月の東日本大震災により明らかとなった国土計画における諸課題や、急激な人口減少、高齢化の進展など、国土を取り巻く状況の変化、地方創生への取組の必要性を踏まえ、計画の改定に着手することとなりました。



▲高橋会長の挨拶の様子

本協議会では、3月2日（月）に開催した有識者懇談会での意見を踏まえた、東北圏広域地方計画改定骨子案について審議いただきました。

始めに、武藤国土交通審議官より、『これからの10年間は、我が国の将来を左右する、言わば日本の命運を決する10年であり、この10年で未来への礎となる国土の形成を図ることが、新たな国土形成計画（全国計画・広域地方計画）の大きな役割です。地方の資源を最大限に活かして、個性ある都市と都市の対流を起こし、地方創生とも連携しながら、自立的に発展する東北の将来像を描いていただくことを期待しております。』と挨拶がありました。その後、国土交通本省から「国土形成計画（全国計画）中間とりまとめ」について説明があり、続いて、事務局より「東北圏広域地方計画改定骨子案」の説明を行い、骨子案について了承を得ました。

骨子案に関して、構成員からの主な意見は、

- ・人口減少について、計画の中に具体的な目標・指標などを入れて欲しい。
- ・広域観光について、東北圏が一体となって誘客促進に取り組むことが重要。
- ・先端的な国際研究拠点、加速器関連産業という視点も取り入れて欲しい。
- ・日本海国土軸の考え方を計画に組み入れて欲しい。等

今後は、東北圏広域地方計画改定素案の作成に向けて、各構成機関の皆様と協力しながら進めて参りますので、よろしくお願いいたします。

本協議会の詳細については、東北圏広域地方計画協議会ホームページをご覧ください。

→<http://www.thr.mlit.go.jp/kokudo/kyougikai/kyougikai03.html>

「“美しき桜心の物語”の語り会」が開催されます！

東北地方整備局

来る5月1日（金）に弘前文化センター・ホールにおいて「第四回“美しき桜心の物語”の語り会～桜の札所八十八番・弘前公園～」が開催されます。

このイベントは「美しい山形・最上川フォーラム」と「美しい多摩川フォーラム」が連携・協働し、東日本大震災からの復興支援を目指し立ち上げた「東北・夢の桜街道推進協議会」等の主催で開催されるものです。

東北・夢の桜街道推進協議会は、東北6県の知事や航空・鉄道会社、旅行会社、金融機関等も賛同し、官民を挙げた運動を展開しており、東北における八十八カ所の桜の札所及び番外編の桜の札所二十カ所を選定し、札所巡りの旅行商品等を開発するなど「桜」を震災からの再生のシンボルに掲げ、震災後10年間広域的な地域支援活動を継続的に実施することとしています。

その一環として、毎年、桜の時期に「語り部・平野啓子氏による“美しき桜心の物語”の語り会」が開催されています。

4年目の今回は、青森県弘前市にある弘前文化センター・ホールで開催されますので、皆様、ぜひ幻想的な「桜の語り」に身をゆだねに来てはいかがでしょうか。

詳細は、こちらから → <http://www.tohoku-sakurakaido.jp/kataribe.html>



人事異動

4月1日付け、東北圏広域地方計画推進室の人事異動がありましたので、お知らせします。

(新総括副室長) 信原 光夫 (のぶはら みつお) 国土交通省 国土政策局
広域地方政策課 専門調査官から
(前総括副室長) 須田 健介 (すだ けんすけ) 国土交通省 土地・建設産業局
建設業課 企画専門官へ

(新副室長) 奥山 英治 (おくやま えいじ) 東北地方整備局 道路部 特定道路工事対策官から
(前副室長) 高橋 弘典 (たかはし ひろのり) 東北地方整備局 道路部 地域道路調整官へ

(新副室長) 伊藤 祐二 (いとう ゆうじ) 東北運輸局 自動車交通部 次長から
(前副室長) 吉田 清一 (よしだ せいいち) 退職

編集後記

新年度を迎え、構成機関の皆様方におかれましても人事異動があったことと思います。私たち推進室も約半分のメンバーが入れ替わる事となりました。

昨年度まで「東北圏広域地方計画」改定に携わった方々には様々なご協力をいただき、この場を借りまして感謝申し上げます。また、今年度から新たに本計画に携わる方々と昨年から引き続き担当される方々におかれましては、今年度も一年よろしくお願いいたします。

『東北圏だより』に掲載する広域地方計画に関連する情報をお寄せ下さい。また、『東北圏だより』へのご質問、ご意見、ご要望等についても結構です。お気軽に次のアドレスまでメールでお寄せ下さい。メールアドレス：kou-suishin2@thr.mlit.go.jp